

長期計画策定会議の分科会について（案）

平成11年7月2日

長期計画策定会議

1. 分科会

長期計画策定会議の調査審議を円滑に行うため、同会議に以下の分科会を設ける。

分 科 会 名	検 討 事 項
第 一 分 科 会 (国民・社会と原子力)	情報公開・提供、意見聴取、教育、立地地域との共生等の国民・社会と原子力に関する事項
第 二 分 科 会 (エネルギーとしての原子力利用)	新エネルギーとの比較等エネルギー政策の中の原子力利用の在り方、放射性廃棄物処分を含む核燃料サイクル政策の明確化及び原子力産業の在り方に関する事項
第 三 分 科 会 (高速増殖炉関連技術の将来展開)	高速増殖炉とこれに関連する核燃料サイクル技術の在り方、方向性及び今後の課題に関する事項
第 四 分 科 会 (未来を拓く先端的研究開発)	加速器、核融合、研究炉、レーザー等の先端的研究開発の推進方策及び我が国全体としての研究開発体制の在り方に関する事項
第 五 分 科 会 (国民生活に貢献する放射線利用)	質の高い医療の実現、食料の安定供給といった国民に身近な放射線利用の在り方及び推進方策に関する事項
第 六 分 科 会 (新しい視点に立った国際的展開)	多様な政策手段を活用した、包括的・戦略的な国際協力の在り方及び国際的な核不拡散の強化に向けた原子力平和利用の展開に関する事項

2. 合同分科会の開催

分科会は、相互に関係の深い事項を審議するときには、必要に応じて合同分科会を開催することができる。

第1回長期計画策定会議における指摘事項の概要

<総 論>

1. 検討の進め方

- 国民からの意見の聴取
- 若い世代との対話
- 過去の経緯にとらわれない議論
- 制度面に関する検討の必要性
- 選択肢の中から科学的に選ぶ

2. 長期計画の在り方

- 対象とする時間的なスコープ
- 誰のための長期計画か
- 基本理念と具体的な実行計画の分離
- 産官学の役割分担の明確化
- 歴史的な反省

<各 論>

3. 国民・社会と原子力 → 第一分科会

- 表現の仕方の貧困さ
- 安全性・危険性についての説明
- 国民のコンセンサス形成
- 透明性・公開性の確保
- 地域との共生
- 人類史的な議論

4. エネルギーとしての原子力利用 → 第二分科会

- 原子力の意義・必要性の明確化
- エネルギー全体の中での原子力の位置づけ
- 長期的な視点から科学的・客観的な評価
- 新エネルギーとの比較検討
- エネルギー需給見通しの前提
- 地球温暖化防止対策の中における原子力の役割
- 規制緩和、電力自由化との関連
- 使用済燃料対策、放射性廃棄物対策の重要性

5. 高速増殖炉関連技術の将来展望 → 第三分科会

- 放射性廃棄物とプルトニウムの増大への懸念
- 整合性のとれた高速増殖炉体系

○核不拡散抵抗性の向上

○時のアセスの必要性

6. 未来を拓く先端的研究開発 → 第四分科会

○原子力科学技術の幅広い可能性

○国と民間の役割分担と連携・協力

7. 国民生活に貢献する放射線利用 → 第五分科会

○医学等への幅広い応用

○食料確保の観点からの消費者の信頼

○健康影響と防護対策

8. 新しい視点に立った国際的展開 → 第六分科会

○世界の動向に関する評価・認識

○国際的視点の重視

○安全保障の捉え方